

## [成果情報名]クニマス卵を捕食するウナギの駆除に有効な漁具

[要約]西湖のクニマス産卵場周辺でクニマス卵を捕食するウナギの駆除を行うため、飼育試験によりウナギの採捕に有効な漁具を検討した。ウナギの選択性が高い漁具は筒で、材質は塩ビ、入り口の径は50-65mm、長さは120cm~150cm で、集魚灯は入れたものが良く選択された。

[担当]山梨県水産技術センター・増殖スタッフ・加地弘一

[分類]研究・参考

---

### [課題の要請元]

花き農水産課、西湖漁協、富士河口湖町

### [背景・ねらい]

クニマス産卵場で毎年11月から翌年2月頃にかけて、大型ウナギ（ヨーロッパウナギ）によるクニマス卵の捕食が確認されている。そこで、クニマス産卵保護を目的に産卵場周辺でのウナギ駆除に効果の高い漁具について明らかにする。

### [成果の内容・特徴]

1. 西湖で採捕された大型ウナギを用いて、漁具に対する選択性試験を実施した（表1）。
2. 筒漁具の材質として青竹より塩ビ管を良く選択し、塩ビ管の直径は50-65mm、長さは120cm~150cmを良く選択した（表2）。
3. 漁具の種類については市販のカゴは全く選択しないこと、筒のカエシ形状は市販のウナギ用よりもアナゴ用を良く選択すること、筒は単独よりも3本束ねた方をよく選択した（表3）。
4. 筒の中に集魚灯を入れた方を良く選択した（表4）。

### [成果の活用上の留意点]

1. 飼育試験で効果のあった漁具について実際に西湖で漁獲試験を行うと同時に、産卵場でのウナギの出現状況をモニタリングすることで、駆除効果を確認する必要がある。
2. 各種餌料（冷凍したミミズ、ワカサギ、オキアミなど）の有無による選択性試験を実施する。

### [期待される効果]

産卵場周辺からウナギを除去することで、ウナギによるクニマス卵の食害が軽減でき、クニマスの保全につながる。

[具体的データ]

表 1 試験に用いたウナギの測定結果

個体	種	全長 (mm)	体重 (g)	頭部高 (mm)	頭部幅 (mm)	体高 (mm)	体幅 (mm)	備考
A	ヨーロッパウナギ	811	965	48	46	55	50	2018年度の実験に使用
B	ヨーロッパウナギ	850	1,145	53	44	55	50	〃
C	未同定	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	2019年度の実験に使用
D	未同定	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
E	未同定	775	738	〃	〃	〃	〃	〃

表 2 筒漁具の選択性 (2018 年度)

個体	材質		直径					長さ						
								試験 1 回目				試験 2 回目		
	塩ビ管	青竹	30mm	40mm	50mm	65mm	75mm	80cm	100cm	120cm	150cm	80cm	100cm	120cm
A	3	0	0	0	4	3	0	0	1	0	3	0	0	2
B	3	0	0	0	4	3	0	0	1	0	3	0	1	1
計	6	0	0	0	8	6	0	0	2	0	6	0	1	3

※ 数字はウナギが選択した回数

表 3 漁具形状などの選択性 (2019 年度)

個体	漁具の種類		筒のカエシの形状		筒の束ね方	
	塩ビ管	カゴ	アナゴ用	ウナギ用	単体	三連
C	10	0	5	5	4	6
D	10	0	10	0	4	6
E	10	0	8	2	4	6
計	30	0	23	7	12	18

※ 数字はウナギが選択した回数

表 4 集魚灯による選択性 (2019 年度)

個体	青色LED		赤色LED		緑色LED		紫外線LED	
	有り	無し	有り	無し	有り	無し	有り	無し
C	7	3	11	5	8	7	5	5
D	7	1	—	—	—	—	—	—
E	6	4	10	7	11	4	6	4
計	20	8	21	12	19	11	11	9

※ 数字はウナギが選択した回数

[その他]

研究課題名：クニマスの保全及び養殖技術に関する研究

予算区分：県単（総理研）

研究期間：2019～2021 年度（プレ研究・2018 年度）

研究担当者：加地弘一、青柳敏裕、大浜秀規